

1966 (昭和41年)

会員数44名

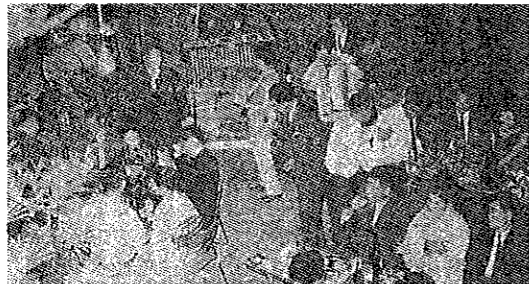
15代理事長

村上恭三



村上恭三氏が15代理事長となった此の年、新築した商工会館に事務所が移り、15周年記念式典の大事業を迎え、メンバー一同大いに対外的にも飛躍した年である。大会委員長の坂本直前理事長の元、勧誘・式典等9つの委員会を編成、開催日を6月5日に決定しPR活動を開始したが、その日は佐賀関JCの認証式と重なっていた。九州JCとの交流を深め、参加者をより多く募る意味からも、八幡浜JC 15周年式典は急遽6月19日に変更した。勧誘委員会は各地に飛び、特に九州東海岸、大分・臼杵はもとより延岡・宮崎・中津まで足を伸ばしPR活動に励んだ。

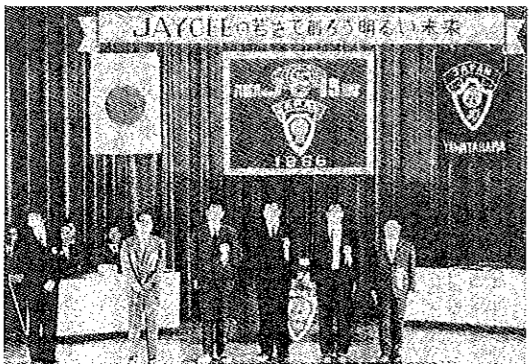
式典前夜はガーデンパティオと銘打ち、ロンドン別館の庭で前夜祭を行った。特に別館主人が趣向をこらした青竹に流すそうめん流しはめずらしく、大いにうけたものである。



にぎやかなロンドン別館での前夜祭

翌、式典当日、新築の愛宕中学校体育館で八幡浜高校ブラスバンドの演奏による高らかなファンファーレの音と共に式典の幕が開かれた。遠く北海道は札幌・仙台・長野を初め38県からの237名のメンバーが集った。

怪しまれていた梅雨空から大会途中大粒の雨が降り始め、宮本一成氏にお願いしていたトロール船大生丸で速来の客を乗船させ港を一周する計画が出来なくなった。バスで客を保内方面へ廻し時をかせぎ、懇親会の準備にかかった。前夜より平和荘で平田豊治氏・田中義孝氏・徳永明氏・清家一朗氏の面々が腕によりをかけて造った自慢の郷土料理は、雨の中大急ぎで懇親会場の公会堂に運ばれた。特に八幡浜の心意気を見せんと腕をふるった大鯛の活作りには他のJC会員のド肝を抜き、大いに喜んでいただいた。



創立15周年記念式典

式典の参加者は口々に賞賛の声を飛ばし、八幡浜青年会議所は素晴らしいと深い感銘を与えた。四国最初に日の灯ったJCの名に恥ぬ会は成功を納め、八幡浜青年会議所の真価を不動のものにした。6月5日佐賀関JC認証伝達式に積極的に参加、15周年の開催日八幡浜で再会を呼びかけ大いに八幡浜を売り込む機会の場でもあった。

15周年で始まり15周年で終わった一年間であったが、他に多くの事業を行った。

3月12日、第9回勤労青少年の門出を祝う会では新制作の「泥かぶら」を公演し、高松市での第13回四国地区会員大会ではローカルJC賞、個人賞を坂本武氏が受賞、5年間連続出席で坂本武・松本武泰・津野敏樹・河野純也各氏が讃えられた。7月には第1回愛媛県ブロック協議会の設立に協力、大会及び野球大会に参加、第5回市内小中学校美術展開催、8月にソフトボール大会9月に八幡浜JC「模擬市議会」開催・10月に宿毛JC認証伝達式に参加、恒例のみならず祭仮装行列に参加と、15周年を機に多くの事業を消化し会員も44名に増え内外共に最も充実した一年であった。



メンバーの強い結束で成功した15周年記念



勤労青少年を祝う会での村上理事長

1967 (昭和42年)

会員数50名

16代理事長

門欣之助



創立15周年を終えた八幡浜青年会議所も、これを節目として新しい時代に向けて踏み出した。

16代理事長となった門欣之助氏はさらに木目の細かいJC活動を続ける為、先ず財政基盤を確立する意味でこの年JC基金制度を設置したのである。またこの時より諸帳簿の記載を正確にしていた。

この春、JC会員の取り組みだ大きな出来事に平田久市OBの県会議員の立候補がある。理事長以下メンバー毎朝、早朝例会と称し、朝7時より平田邸に集り朝食を取りながら平田OB必勝のあらゆる作戦を練りに練る毎日であった。その結果見事平田久市OBを県政に送る事に成功したのである。



県会議員に見事当選した平田久市OBを囲むメンバー

4年前JCの積極的政治参加をスローガンに、市政からさらに平田氏を県政へ、青年会議所の団結と行動の力がここに大輪の花となって咲いたのである。

門理事長は特に青少年問題に関心をもち、2月6日青少年を守る座談会を商工会ホールで行い毎月5日を「青少年を守る日」と決め街頭に宣伝車を出し宣伝活動を続けた。この活動は2年間程続いた。

それに、青少年の健全育成と中小企業従業員の福祉向上のため発会したJCC、八幡浜青年会議所音楽コンサートクラブの会を結成し、ダンスパーティーと音楽会を行い出席者60人を募る事が出来楽しい一夕を過ごした。

6月4日新市長・清水新平氏他の市の理事者を招き、若人が期待する明日の八幡浜像を市に望んだ。教育・地域社会・政治・観光問題等多くの質問が出された。他に青年団・婦人会・VYS・サイクリング協会も参加して会は熱のある有意義なものであった。

6月10日・11日と高知市に四国地区協議会、会員大会が開催され、八幡浜より多数参加し、楽しい2日間を南国高知で過ごした。



6月10日高知で開催された四国地区協議会

7月28日の年一度会員家族が楽しみにしている夏季家族会は加周海岸に行き88名が参加して海水浴やゲームで楽しい一日を過ごした。

心身障害者問題を社会開発の一端として取り上げた日本青年会議所でも毎年身障者の映画を上映、各地で大きな反響を呼び多大な成果を収めている。

5月27日商工会館において「明日の太陽」「はくらのお城」「やれば出来るんだ」の映画3本を上映。市内の民生委員・手をつなごう親の会、少年ホーム、八幡浜学園、学校長、PTA会長や身体障害児の家庭から多くの人々の出席を願い深刻な現状を訴え、この問題解決促進の一助に供した。

先年、宮本一成氏に続き伊藤礼司氏が総理府よりの青年派遣団として10月9日より3ヶ月間中近東方面視察のため派遣された。それに先立ち9月22日社行会を商工会館3階ホールで開催した。伊藤氏は市などが贈った一万九千七百円を見学館建設資金に役立てて下さいと市に寄付、10月1日午後1時25分の列車で八幡浜を發った。

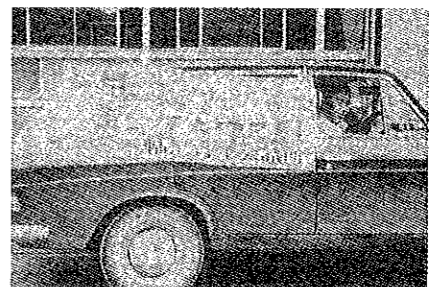


中近東へ青年派遣団として出發する伊藤礼司氏の社行会

例年みならず祭仮装行列は楽しみの行事であったが、この年南予地方末會有の大早魃に見舞われ、みならず祭が中止となった。「若者のパラダイス」という題で出演の準備に取り掛かっていた会員をがっかりさせた。

この年高松で開催された北四国ブロック協作文審査会で八幡浜の八代中学2年生清水さき子さんの作文が第一位に選ばれ、清水さき子さんに、日本JC会頭賞第一位の盾と賞状が贈られた。

10月15日臼杵・八幡浜JC経済交流懇談会を商工会議所で行い、自己の企業を通じて九州・四国へかける期待と言うテーマで語り合った。会の後九三ボーリング場でボーリング大会を行い、その後懇親会を行った。



毎月5日「青少年を守る会」で街頭宣伝車を出す宮川氏



臼杵JCとの経済交流会